



知方学便り

《学校教育目標》
 ○よく考え進んで学ぶ子
 ○明るく助け合う子
 ○広く見詰めがんばりぬく子
 ○じょうぶで元気な子

釧路町大字仙鳳趾村字知方学41番地 TEL (FAX) 61-8335

成長を感じ取れる3学期へ

校長 長谷川 郁夫

16日(金)に3学期の始業式を行いました。3週間ぶりに体育館に集まった子供たちの顔を見ながら、大きな事故やけがなど無く冬休みを過ごせてよかったと実感しました。また、2学期末には町内でも増加傾向にあったインフルエンザ等の感染症の影響は感じられず3学期のスタートを切れたことにまずは安心していきます。

さて、1年のまとめの時期であるこの3学期ですが、何となく過ごしているとあっという間に終わってしまいます。始業式では子供たちに、自分がどれだけ成長したのか、ということをしっかりとかんがえてほしいと伝えました。自分の成長を認識することは子供にとっては難しいことかもしれませんが、例えば1年前の自分と今を比べてみると、変化しているところがたくさん見つかると思います。体の大きさ、ものの考え方、生活習慣、運動能力、知識やできるようになったこと、等々。これらは、自然に身に付いてきたことだけでなく、自らの意思や周りからの影響によって、その子自身が何らかの行動を起こしてきた結果、表れた変化だと思えます。このような変化を自分の「成長」ととらえて、自信を持ってほしいのです。

保護者の皆様には、これまで以上にお子さんの変化(成長)に目を向け、それにつながるお子さんの行動を価値づけてあげてはいかがでしょうか。身近な人に認められることは、何よりも励みになり、自己有用感にもつながっていきます。「自己有用感」とは、自分が誰かの役に立っている・他者により影響を与えている・価値のある存在だと感じる感覚で、社会性を育むうえで本校でも大切にしている考え方です。似た言葉に、「自己肯定感」や「自己効力感」というものがあります。自分の価値を認識したり、自信を持ったりすることができるように、いろいろな人とかかわりの中で育んでいこうと考えています。

始業式ではもう一つ、自分の目標にまだ届いていないところについては、次の学年になる前に、6年生は中学生になる前に、目標に近づけるよう前向きに取り組んでほしいということをお話しました。

この3学期に、子供たちが目標に向かって、生き生きと前向きに取り組んでいけるよう、職員一同、全力で支えていきたいと考えています。3学期も、保護者や地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2月 4日(水) 9:20~11:15 氷上運動会(予備日2/3)
 2月 9日(月) 13:20~14:40 昆中新入生体験入学(6年生)
 2月15日(日) 町民カルタ大会(町公民館)

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	日	週休日	16	月	短縮6 朝会 釧路町いじめ根絶子ども会議(児童会代表)
2	月	短縮5・6時間 朝会	17	火	短縮5時間 職員会議 ^⑬
3	火	短縮5・6時間 放課後学習 ^⑫	18	水	短縮5・7時間
4	水	氷上運動会	19	木	5時間授業 参観日 2計測
5	木	短縮4時間 町研一斉研究集会	20	金	フッ化物洗口 児童総会(昼休み) 定時退勤日
6	金	氷上運動会予備日	21	土	週休日
7	土	週休日	22	日	週休日
8	日	週休日	23	月	祝日(天皇誕生日)
9	月	短縮6・7時間 朝会 新入学説明会(6年)/昆中 研修日	24	火	
10	火	短縮5・6時間 クラブ ^⑩	25	水	短縮5時間 職員会議 ^⑭
11	水	祝日(建国記念日)	26	木	短縮5時間 職員会議 ^⑮ 読み聞かせ
12	木	短縮5・6時間 読み聞かせ カルタ練習 ^⑤ SC ^③ PTA役員会 ^④	27	金	短縮5・7時間 なわとび記録会 フッ化物洗口
13	金	短縮5・7時間 フッ化物洗口 児童委員会 ^⑩	28	土	週休日
14	土	週休日			
15	日	週休日 町民カルタ大会			

1月の教育活動



●3学期始業式・冬休み作品発表会(1/16)

21日間の冬休みが終わり、3学期がスタートしました。休み中の大きな事故やけが等もなかったようで、子どもたちは元気いっぱい、笑顔いっぱいで登校する姿があり、ほっと一安心でした。また、始業式後には、冬休み作品発表会が行われ、休み中に制作したものを発表しました。各学級、廊下に作品展示もされています。学校に足を運ぶ機会がありましたら、ぜひご観覧いただければと思います。



◎集合学習3回目を行いました(1/22)

昆布森小学校の子どもたちと今年度3回目となる集合学習を行いました。今回は、例年同様、知方学小のリンクを会場に長くつアイスホッケーを通して交流を図りました。ここ数年、気候状況によりリンクづくりが難しくなり、実施も危ぶまれましたが、無事予定通り実施することができて一安心しています。町民長木大会に向けて、各校良い練習の機会となりました。



●冬の避難訓練がありました(1/21)

1/21(水)に告知無しでの避難訓練が行われました。今回は休み時間に大地震が発生し、理科室から火災が発生する想定でした。緊急放送を聞くこと、その後の避難行動を取ることが試されました。子どもたちは、場所ごとに正しい判断をし、安全な行動を取ることができていました。様々な災害に備えて、しっかり状況を判断し、正しい行動を再確認する良い機会となりました。



◎町民長くつアイスホッケー大会(1/24)

天候にも恵まれ晴天の中、町民長木大会を終えることができました。今年度は、低学年と高学年の部に分かれての大会でした。低学年は2敗1分け、高学年は勝ち上がり1勝2敗の結果となりましたが、それぞれに持てる力を発揮し、頑張る姿がありました。次は2/4の氷上運動会に向けてレベルアップを目指したいですね。



【学校評価に関わる3者アンケートによる結果(R7 後期) 4段階評価】

※学校評価アンケートのご協力、有り難うございました。

番号	評価項目	評価者	各評価指標	評価(前期)	評価(後期)
1	授業の展開	教職員	児童が自分の考えを持ち、交流を通して高め合い、自分の学習の振り返りを位置づけた授業に努めている。	3	3
		児童	授業で友達と情報交換をしたり、最後に振り返りをしたりすることは必要だと思う。	3.5	3.7
		保護者	お子様が授業で友達と情報交換をしたり、学んだことを振り返ることは必要なことだと思う。	3.7	3.7
2	表現活動	教職員	児童が自分の思いや考えを表現する機会の設定と能力の育成に努めている。	3.2	3
		児童	友達の前などで、自分の思いや考えを表現できるようになってきた。	3.7	3
		保護者	お子様が以前より自分の気持ちを表わすようになってきていると思う。	3.4	3.6
3	学習の運動	教職員	学力の向上を目指した授業、朝学習、家庭学習(宿題・自主学習)、放課後学習の効果的な運動に努めている。	3.2	3.5
		児童	授業や朝学習など、どの場面でも、しっかり勉強しようと思っ、いつも集中してがんばっている。	3.3	3.4
		保護者	お子様との会話や学習に取り組む様子などから、意欲的に学習に取り組んでいると思う。	2.9	3.2
4	掲示の工夫	教職員	児童の作品や頑張りへの称賛などができ、学習意欲の向上に結び付く掲示の工夫に努めている。	3.2	3.2
		児童	教室や廊下に自分の作品などが掲示されていることは、次もがんばろうという気持ちにしてくれる。	3.1	3
		保護者	校内の掲示はお子様への称賛や学習意欲を高めるように工夫されている。	3.3	3.1
5	家庭学習の習慣化	教職員	家庭学習を習慣化するとともに、学力向上の手立てとして内容や方法などを工夫している。	3.5	3.5
		児童	自宅で毎日、宿題をしたり、自分で考えた自主学習をしたりしている。	3.4	3.1
		保護者	お子様は学年の目安時間を意識して、進んで家庭学習を行っている。	2.8	2.8
6	ICTの活用	教職員	授業で児童の主体的な学びのためにタブレットを効果的に活用している。	3.5	3.7
		児童	授業でタブレットを使うと、より進んで、勉強できている。	3.5	2.7
		保護者	お子様は学校や家庭で、タブレットを使用して学習することは必要なことだと思う。	3.5	3.1
7	道徳指導の充実	教職員	道徳的価値について、深く考えたり、交流したりする授業づくりに努めている。	3.2	3.5
		児童	道徳の時間は、自分の考えを話したり、友達の話の聞いたりしながら、考えることが多くなってきた。	3.3	3.6
		保護者	お子様は、そのときの場面や周りの人達に対して、よく考えて行動することができるようになってきた。	3.5	3
8	友達意識	教職員	自分や友達の個性を認め合える心が育つように、適切な指導や機会の確保などに努めている。	3.5	3.5
		児童	いろいろな場面で友達と一緒に行動することで、友達の気持ちを分かちあえるようになってきた。	3.5	3.4
		保護者	お子様は友達と行ったことや協力したことなどのお話を聞かせてくれる。	3.6	3.4
9	自己認知	教職員	児童が周りの人々との交流を通して、感じたことを記録したり、発表したりするなど、自分自身を見つめることができるように努めている。	2.5	3
		児童	いろいろな場面で友達と一緒に行動したことを、後から振り返って反省することがある。	3.3	3.5
		保護者	お子様は、周りの人達との関わりについて、自分自身の言動を振り返って反省することがある。	2.9	2.9
10	体力づくり	教職員	体力の向上を意識して、日常的に運動の取組や体育の授業の工夫改善に努めている。	3	2.7
		児童	学校の休み時間や放課後、休日の時間があるときに、運動しようとしている。	3.5	3
		保護者	お子様は、ご家庭で体力向上のため、運動や外遊びなどを行っている。	3.8	3.4
11	健康管理	教職員	手洗いやうがい等の呼びかけや適宜換気をするなど、感染症の防止に努めている。	3.7	3.5
		児童	手を洗うことやマスクを着けることなど、健康に気をつけた生活をしている。	3.6	3.5
		保護者	風邪や感染症等の予防のため、お子様は手洗いやうがいなどに努めている。	3.5	3.5
12	働く喜び	教職員	児童が自分の周りの人や公共のために働くことの喜びに気づいたり、役割を果たそうとする思いなどを育てている。	3.2	3.5
		児童	誰かのために働くことは楽しい。	3.5	3.6
		保護者	お子様は、家族のために楽しくお手伝いをしている。	3.3	3.6
13	努力の大切さ	教職員	児童が学習や行事等の目標に向かって努力することの大切さに気づくような取り組みをしている。	3.2	3.5
		児童	自分が決めた目標や課題解決に向けて、進んで学習したり、運動したりしている。	3.7	3.2
		保護者	お子様は学習やお手伝いなど、最後まであきらめずに取り組んでいる。	3.5	3
14	地域連携	教職員	地域との連携を生かした教育活動を計画的に実施し、協力をいただいている。	3.7	3.7
		児童	地域の方と一緒に勉強したり、活動することは楽しい。	3.5	3.5
		保護者	学校は地域と連携した活動を計画的に実施している。	3.6	3.2
15	基本的な生活習慣	教職員	朝ご飯を食べる、ゲーム時間の制限など、基本的な生活習慣を身につけさせるための指導をしている。	3	3.5
		児童	毎日、早寝早起きや朝ご飯を食べる、自宅でゲーム時間を守るなど、規則正しい生活をしている。	3.2	3
		保護者	お子様は早寝早起きや朝食をとる、ゲーム時間を守るなど、基本的な生活習慣が身に付いている。	3.4	3.3

★評価数値が3未満の項目の考察・改善点について(学校としての今後の取り組み)

- 【項目5】 学校の手立てが家庭での実行につながっていない。(保護者のニーズとのずれ) 家庭学習の出し方、量については、家庭の状況を把握しながら調整を図っていく。
- 【項目6】 授業では多くの場面でタブレットを使用しているが、子ども自身が良さを実感できていない。教師側のための活用から児童活用の有効性(必要感)にシフトチェンジをしていく。
- 【項目9】 児童と保護者の認識の差が見られる。自分自身を振り返る機会をつくと共に、反省が次に生かされるような取り組みを実施していく。
- 【項目10】 3者とも前期より数値の下落が見られる。学校としての取り組み改善を行っていく。(休み時間一緒に遊ぶ、放課後活動の呼びかけ、冬場での活動の提示など)